



第32号  
発行年月日  
平成26年10月1日  
日田市南友田100-1  
日田木材協同組合  
総務企画委員会発行  
TEL24-2167

### ★日田木材協同組合百年を語る

明治十四年には木材の卸商八五人、仲買人十四人を数えるに至ったといわれる。彼らのうちには山林経営にも進出し、杉植林の担い手となった者もあるという記録が残されている。

しかし明治十四年以降は、政府のデフレ政策によって価格は下落し、不況の様相を強め、林業においても伐採跡地への再造林の停滞が見られるようになった。

「日田地方に人力車が現れたのはこのころである」

明治十六年九月には木屋方と、すでに株仲間を廃止された船方との間で、舟筏通路修繕のことで規約が作られている。

その概要は 三隈川舟筏通路修繕は木屋方舟方共に重要なことである。そこで治川料舟四銭、筏三銭宛収入所で徴収するようにした。規約を立てた上は営業者は規約を遵守して貰いたい。若し万一規約を破り、治川料を不納の場合は、その舟筏を長谷改所に留め置いて必ず徴収するよう。などの規約を定め次の代表が署名捺印している。

明治十六年九月

木屋方惣代

梅山樹平、高倉作兵衛、大関伊三郎、佐藤芳三郎、金子儀助、横尾順一、宮崎治平、相良吾平、千原武六、宇野直蔵ら  
一〇名である。

次号へ続く

### ★恵良土場現地視察

八月十九日、役員にて恵良土場の現地視察を行いました。イサモト土地企画設計様より現地状況、埋め立て工事の説明を貰いました。



終了後、臨時役員会を開き、恵良土場の造成について、工事者、入札等について協議しました。

後日、入札の結果、施工業者は川浪組に決まり9月25日から工事に着手しました。

### ★大山祇神社祭事

九月二十四日、大原八幡宮に於いて、大山祇神社の祭事を執り行いました。

大分西部森林管理署入口署長を始め来賓の方々、業界顧問や役員に参拝頂きました。当日は、雨天が危ぶまれた為、神殿にて祭事を執り行いました。



### ★顔の見える家づくり推進協議会

#### 日田市市長へ陳情

9月26日に、協会と電気、管工事組合を加え9団体にて、日田市市長へ平成26年度の補助金の増額の要望書と、平成27年度への企画要望書を提出し陳情しました。



### ☆お知らせ

#### ○第49回全国木材産業振興大会

十月十五日、東京国際フォーラムにて開

催されます。

前理事長佐藤浩幸様が、木材産業功労全木連会長表彰を受賞致します。

心よりお慶び申し上げます。

#### ○秋の優良材市

来る十月二十三日に「秋の優良材市」を開催いたします。予定出品量 二千㎡です。沢山の応援をお願いします。



#### ○業主旅行

十一月十四日(金)～十六日(日) 東京方面へ、CLTの研修や東京大学での講義、TBSハウジング、木造中層ビルなど、見どころいっぱいです。

#### ○乾燥機の増設

組合員から乾燥機の増設について要望があり、共販委員会にて協議を重ねて来ました。既設の乾燥機3基はいずれも導入から13年以上を経過していることや、これからはKD材の需要が拡大することが予想されるため、1基を増設することになりました。11月頃より始動の予定です。

#### 大分労働局・労働基準監督署

#### 『労働災害非常事態宣言』発令！

大分県内の労働災害発生状況は、本年7月末日現在、増加した昨年同期と比較して15.4%と大幅に増加傾向を示しています。この増加は、都道府県に比較すると、全国ワースト2位の増加率となり過去にない不名誉な記録となっています。また、労働災害による死亡者は昨年を2人上回る6人となるとともに、ここ数年発生していなかった重大災害は既に5件発生するなど、極めて憂慮すべき危機的状況に陥っています。

今般、大分県においては、急増する労働災害に歯止めをかけるため、大分労働局長による『労働災害非常事態宣言』を発令するとともに、緊急的な取り組みとして、『大分県労働災害防止緊急対策強化期間』(9月～11月)を設定しています。

木協では12月8日に講習会を予定しています。

#### ○焼却炉の譲渡について

焼却の基準をクリアした程度の良い焼却炉が木協にあります。必要な方は10月20日迄に申込みください。低価格にて譲渡致します。

